

輸送安全マネジメントに関する取り組み

アサヒ観光株式会社は、輸送の安全を確保するために、
以下の通り全社員が一丸となって取り組みます。

輸送の安全に関する我が社の安全方針

経営の責任者である社長は、輸送の安全の確保が事業運営の根幹であることを深く認識し、社員への周知徹底を行い輸送の安全の確保に主導的役割を果たします。

会社は輸送の安全に関する「計画の策定、実行、チェック、改善」を絶えず行い、社員が一丸となって遂行するほか、絶えず輸送の安全の向上に努めていきます。

社内への周知方法

「安全方針」「社内目標」を社内に掲示し、乗務員教育時や会議等を活用して全社員に周知徹底する。

平成31年度目標(期間4月1日～3月31日)

人身事故 0件 (平成30年度人身事故ゼロ)
物損事故 0件 (平成30年度は物損事故1件)

平成31年度目標に関する輸送の安全計画

現在地の把握が容易になる事で労務管理を徹底運行管理システムや補助機器の更新、新しいルート・危険箇所・渋滞ルート等を社内掲示し情報を共有化する。

平成30年度の輸送の安全に関する達成状況

平成30年度、目標の達成状況(期間4月1日～3月31日)平成30年度の目標は人身事故0件、物損事故(当社基準による)50%減を目指し(平成30年度は人身事故0件、物損事故0件)事故防止対策に取り組んでまいりましたが、人身事故は0件、物損事故0件、目標を達成しました。

※ 自動車事故報告規則第2条に想定する事故件数は0件

平成30年度の安全に関する反省事項

30年度の目標を0に設定し目指してきましたが、自社事故事例の教訓を活かせず、同じ内容の事故を繰り返した事。また、基本的な事項であるが、右左折時等の安全確認に対する実践指導の必要性を痛感し、次年度の乗務員教育時には車輛を使用しての基本的な安全確認の実践指導を取り入れる。